

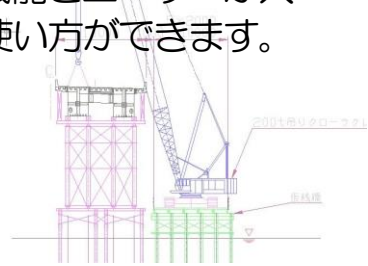


「橋梁架設工事の積算(一社)日本建設機械施工協会」に準拠

鋼橋の架設工事費積算ソフト

概要

- 「橋梁架設工事の積算 令和2年度版」(黄本)に基づいた積算を行います。
- 架設工法はトラッククレーンベント工法および送出し工法です。
- MS-Excel をベースにしたソフトで、編集などが自由にできます。
- 対応橋種は鈑桁、少数I桁、箱桁で、現場溶接にも対応します。
- 鋼重やブロック数および地組数などは、標準値を自動セットする機能とユーザーが入力する機能があります。したがって、概略積算と詳細積算の両方の使い方ができます。
- クレーンの選定や労務単価は自動で処理します。
- 架設工事の工程表を出力します。



入出力例

データ入力 - トラッククレーンベント工法 -

構造形式 | 主桁 | 重量 | 架設ブロック | ベント・クレーン | 単価・損料 |

主桁情報

主桁本数: 2 | 桁高 (最大支間長/20): 2.3 m | フランジ幅 (桁高/4): 0.58 m

総幅員: 13 m | 有効幅員 (総幅員 - 1.2): 11.8 m | 外桁間距離 (総幅員 - 5.0): 8 m

主桁現場継手

HTB | 全断面溶接 | フランジのみ溶接

平均板厚

上フランジ: 35 mm | ウェブ: 16 mm | 下フランジ: 40 mm

入力セル色の説明 | 前回データ読み込み | 計算実行

最低10項目のデータ入力で積算できます。

データ入力 - トラッククレーンベント工法 -

構造形式 | 主桁 | 重量 | 架設ブロック | ベント・クレーン | 単価・損料 |

地組

単ブロック架設部材

ブロック数: 5 | 最大部材長: 12 m

地組ブロック架設部材

ブロック数: 3 | 最大部材長: 20 m

地組部材1主桁当りの総延長 (地組総重量の算出に利用): 60 m

入力説明図

36 m | 36 m

地組ブロック: 8, 12, 11, 10, 11, 12, 8

単ブロック架設部材: ブロック数 = 3, 最大部材長 = 11m

地組ブロック架設部材: ブロック数 = 2, 最大部材長 = 8 + 12 = 20m, 地組部材総延長 = 8 + 12 + 12 + 8 = 40m

注) 地組ブロックは、単ブロック2部材とする

注) ブロックデータは支間長から標準的な値を自動セットしています。この値が不適当な場合は、データ入力して下さい。

入力セル色の説明 | 前回データ読み込み | 計算実行 | 閉じる

MS-Excel で加工編集が自由にできます。

example_bent.xlsx - Excel

example_bent.xlsx - Excel

項目	名称	単位	数量	単価	金額(円)	備考
1	ベント基礎工	m	72.0	4,633	333,576	第1-1号内訳書参照
2	ベント設備工	t	96.9	130,272	12,623,356	第1-2号内訳書参照
3	地組立工	t	232.8	19,408	4,518,182	第1-3号内訳書参照
4	地組溶接架台設備工	t	12.4	173,144	2,146,985	第1-4号内訳書参照
5	桁架設工	t	364.5	25,763	9,390,613	第1-5号内訳書参照
6	重機分解組立運搬費	式	1.0	3,329,068	3,329,068	第1-6号内訳書参照
7	現場継手部溶接工	m	100.8	104,251	10,508,500	第1-7号内訳書参照
8	溶接用カッタ設備工	個	24.0	136,540	3,276,960	第1-8号内訳書参照
9	支承据付工	基	8.0	125,276	1,002,208	第1-9号内訳書参照
10	高力ボルト本組工	本	1690.0	117	1,977,300	第1-10号内訳書参照
11	落橋防止装置工	組	4.0	45,472	181,888	第1-12号内訳書参照
12	早場工	m	100.0	4,724	472,400	第1-13号内訳書参照

計算機能

積算方法	「橋梁架設工事の積算（一社）日本建設機械施工協会」に基づく直接工事費の計算
積算対象	直接工事費の内、架設費と現場塗装費が対象（橋面工事費は含みません）
架設工法	トラッククレーンベント工法、送出し工法
対象橋種	鈑桁、少数I桁、箱桁（鋼床版橋梁は含みません）
現場継手	高力ボルト、溶接
径間数	1～10径間
ベント数	0～30基（トラッククレーンベント工法の場合）
送出し機材	送出し装置、エンドスローラ、自走台車（送出し工法の場合）
送出しの桁本数	鈑桁は1回当たり2または3主桁、箱桁は1主桁（送出し工法の場合）
鋼重	デザインデータブックから自動セットまたは入力
ブロック数、最大部材長	支間長から自動セットまたは入力
クレーンの選定	「橋梁架設工事の積算（令和2年度版）：（一社）日本建設機械施工協会」から自動抽出
労務単価	「令和2年公共工事設計労務単価：国土交通省土地建設産業局建設市場整備課」から自動抽出
機械等の損料	「建設機械等損料表（令和2年度版）：（一社）日本建設機械施工協会」から自動抽出
クレーン賃料	「月刊建設物価（2020年9月号）：（一財）建設物価調査会」から自動抽出
作業パーティ	自動または指定
工程表	自動出力

動作環境

動作OS	Windows 10
使用ソフトウェア	MS-Excel 2013 / 2016 / 2019（32ビット/64ビット版に対応）

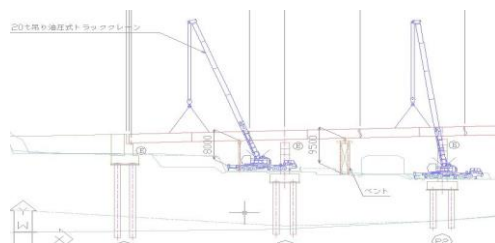
価格

注)金額は消費税を含んでいません。

	トラッククレーンベント工法	送出し工法
1ライセンス	10万円	10万円
追加ライセンス	2万円/本（1事業所内での追加）	2万円/本（1事業所内での追加）
バージョンアップ料	2万円/本（追加ライセンスの分については無料）	2万円/本（追加ライセンスの分については無料）

- ソフトウェアは工法ごとに分かれております。ご購入も工法ごとに選択となります。
- バージョンアップとは「橋梁架設工事の積算」や「建設機械等損料表」および「労務単価」などの令和元年度から令和2年度への改訂に伴うソフトウェアの変更をいいます。

■ 詳細のご説明および評価版のダウンロードはホームページをご確認ください。



・本カタログは、2020年9月30日現在のもので、事前の予告なしに変更することがあります。

株式会社横河技術情報

〒108-0023 東京都芝浦4-4-44 横河ビル
 TEL 03-5442-1703 FAX 03-5442-1704
 HomePage <https://www.yti.co.jp>
 E-mail ebadmin@yti.co.jp